

水源地フォーラム

～公共事業凍結から台風12号災害まで～

開催日時：11月22日(火) 10:00～16:30

開催場所：長浜文化芸術会館「大ホール」

参加費無料

- | | | |
|-------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30 | 受付開始 | (敬称略) |
| 10:00 | 開 会 | あいさつ 実行委員長(長浜市長) 藤井 勇治
総合司会：古井戸 宏通(東京大学准教授) |
| 10:15 | 講 演 | 「公共事業凍結から台風12号災害まで」
高橋 裕(東京大学名誉教授) |
| 11:15 | 基調講演 | 「丹生ダムのその後」
～膠着状態が続く中～
三國 昌弘(丹生ダム対策委員長)
「苦渋の選択と困窮する住民」
～今 山鳥坂ダム工事予定地では～
富永 清光
(地域住民代表 山鳥坂水没地区自治会長)
※山鳥坂ダム(愛媛県大洲市) |
| 13:15 | 現地報告 | 1. 大戸川ダムから
2. 北川ダムから
3. 榎尾川ダム(大阪府和泉市)から |
| 14:00 | 講 演 | 「公共事業が日本を救う」
藤井 聡(京都大学教授) |
| 15:00 | パネルディスカッション「ダム事業凍結・中止がもたらすもの」 | 座長：高橋 裕
パネラー 藤井 聡
上記講演者・報告者のみなさん |
| 16:30 | 閉 会 | あいさつ 副実行委員長(彦根市長) 獅山 向洋
※上記については一部変更がある場合もあります |

《会場案内》

長浜文化芸術会館

長浜市大島町37

TEL:0749-63-7400

JR長浜駅より徒歩12分

長浜I.C.より車で15分

※無料駐車場有



この事業は、河川環境管理財団からの助成を受けております

主催：水源地フォーラム実行委員会
後援：滋賀県市長会・滋賀県町村会

『趣意書』

今年3月11日に発生した「東日本大震災」は、想像の及ばなかった「想定外」の災害として、これまでの災害を一蹴するような出来事でした。そのほぼ半年後、近畿地方を中心に台風12号の大雨による大規模な水害や深層崩壊を伴う土砂災害が発生しました。

私たちはこれを機に、これまで想定外として、また過大であるとして評価の対象とされなかったあらゆる気象・災害データや確率を根本から見直し、長期的な安全性をふまえて再検討することが求められています。

これまでの数年間にわたる「ダムなどの公共事業の中止・凍結」は、その事業によって実生活を大きく変えることになる地域や地域住民の永い闘争や経緯・決断を深く尊重したものとはいえ、ましてや今回のいわゆる「想定外」の大震災をふまえてのものではありませんでした。

淀川水系の水源である琵琶湖を抱える滋賀県をはじめとして、全国のダム事業が突如中止・凍結され、これまで国・府県の事業に執拗に頼まれて賛成させられ、何十年にもわたる長い検討の末、苦渋の決断をした地域住民は、生活設計をその方向へとスタートした途端、事業をストップさせられています。生活に直接的な変更を受けた住民の方々が、「事業については、国・府県と約束して進められてきたものである。」と述べる主張は切実であります。今また「凍結」という膠着状態に、水源地の方々は重ねての被害を被っています。

「公共事業のすすめ方」はいかにあるべきか、国や自治体が地域住民の信頼を失うことなく、実施・変更・凍結・中止を決定するにはいかにあるべきかが、大きく問われています。

今回のフォーラムにおいて、水源地を抱える地方自治体や地域住民が集い、公共事業を取り巻く今日的課題について、今後の展望を一層拡げてゆきたいと思えます。

多くの皆様のご参加と活発な意見交換をお願いします。

『水源地フォーラム実行委員会』

(滋賀県内市町の治水対策の促進協議会と「流域の水循環型社会をすすめる会」で構成)

高時川治水対策促進期成同盟会	【構成市	長浜市】
大戸川河川開発促進協議会	【構成市	大津市・甲賀市・栗東市】
芹川治水対策連絡協議会	【構成市町	彦根市・多賀町】
安曇川水系地山治水事業促進協議会	【構成市	高島市】
ダム・発電関係市町滋賀県連絡協議会	【構成市町	大津市・長浜市・甲賀市・東近江市・高島市・米原市・日野町・愛荘町・多賀町】
流域の水循環型社会をすすめる会	【事務局	東京都】

※2003年に日本で開催された「第三回世界水フォーラム」において、日本としてどのような形で来るべき世界の水危機に貢献できるのか、日本からの発信のあり方を問う国際会議を事前に開催した。その時の成果をふまえて、水フォーラム後も組織・運営体制を維持発展させ、国内外を対象とする調査・研究・助言などを行っている。(会長：東京大学名誉教授 高橋 裕)

『お問い合わせ』

水源地フォーラム実行委員会事務局 (長浜市都市建設部道路河川課内)

〒526-0031 長浜市八幡東町632 (長浜市役所東別館)

TEL 0749-65-6532 FAX 0749-65-6760

Eメール dourokasen@city.nagahama.lg.jp